

<p>【技術の名称】 SST工法 ー置換式柱状地盤改良工法ー (改定3)</p>	<p>性能証明番号: GBRC 性能証明 第11-06号 改3 (更2) 性能証明発効日: 2023年3月17日 性能証明の有効期限: 2026年3月末日</p> <p>【取得者】 株式会社エスエスティー協会 株式会社アルテック</p>
---	---

【技術の概要】

本技術は、地盤を円柱状に掘削し、地上で掘削土に追加砂とセメント系固化材を混合して改良土を作製し、この改良土を独自開発のオーガを用いて水平および鉛直方向に締固めながら掘削孔に充填することで、柱状改良体を築造する地盤改良工法である。

【改定・更新の内容】

- 新規: GBRC 性能証明 第11-06号 (2011年7月29日)
 改定1: GBRC 性能証明 第11-06号 改1 (2014年2月12日)
- ・北陸地盤株式会社が申込者から脱退
 - ・設計径 600mm 改良体の追加
 - ・改良体長さの適用範囲拡大
 - ・設計基準強度の適用範囲拡大
- 改定2: GBRC 性能証明 第11-06号 改2 (2016年3月9日)
- ・設計径 700mm 改良体の追加
- 改定3: GBRC 性能証明 第11-06号 改3 (2017年3月28日)
- ・設計径 400mm 改良体の追加
- 更新: GBRC 性能証明 第11-06号 改3 (更1) (2020年3月12日)
 : GBRC 性能証明 第11-06号 改3 (更2) (2023年3月17日)

【技術開発の趣旨】

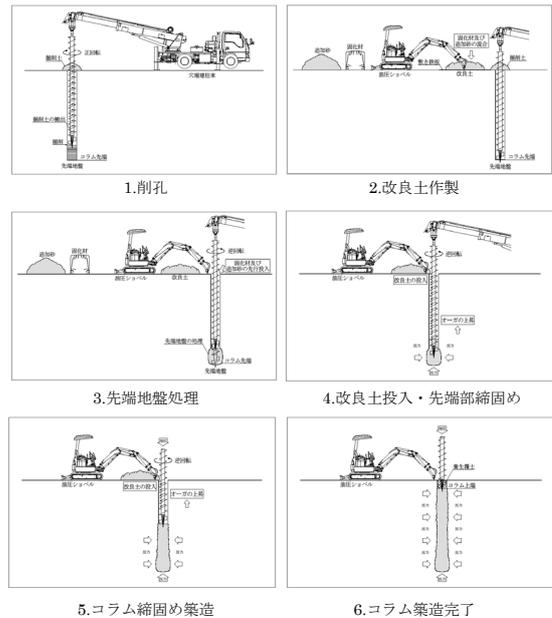
本技術は、独自開発のオーガ機構を用いることで、柱状改良体中央部の固化不足を解消するとともに、改良体周辺地盤の側圧を高めて強い摩擦力を発生させることを意図して開発した工法である。また、地上で掘削土に砂と固化材を添加・混合することで、安定した品質の高強度な改良体の築造を可能としている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「SST工法 施工管理マニュアル」に従って築造される改良体は、土質に応じて700kN/m²～2,400kN/m²の設計基準強度を確保することが可能であり、配合設計及び品質検査に用いる改良体コアの一軸圧縮強さの変動係数として、砂質土層、粘性土層、ローム層および有機質土層で30%が採用できる。

また、本技術については、規定された施工管理体制が適切に運用され、工法が適正に使用されている。



適用範囲

適用地盤	砂質土、粘性土、ローム、有機質土（高有機質土、腐植土含む） ただし、下記の条件に該当する地盤は適用範囲外とする。 (1) 削孔内の流水に対して止水処理が不可能な地盤 (2) 削孔内の孔壁崩落対策が不可能な地盤 (3) pHが4以下の酸性地盤 (4) 産業廃棄物等が堆積している地盤 (5) 施工障害となる玉石、礫等が存在する地盤
------	--

コラム仕様

コラム長	1.5～8.5m (改良深度8.5m)
コラム径	設計径400mm, 500mm, 600mm, 700mm
コラムの設計基準強度	700～2,400kN/m ²

コラムの配合強度

土質	最小値 (kN/m ²)	最大値 (kN/m ²)
砂質土	2800	7500
粘性土	1600	5200
ローム	1600	4200
腐植土【高有機質土含】	2100	4800

【本技術の問合せ先】

株式会社エスエスティー協会 技術開発部 担当者: 飯田 哲夫
 〒290-0021 千葉県市原市山田橋 862-1
 株式会社アルテック 担当者: 野澤 俊輔
 〒305-0034 茨城県つくば市小野崎 88-22

E-mail: info@sstkyokai.co.jp
 TEL: 0436-43-3331 FAX: 0436-43-3335
 E-mail: tnozawa@artec-k.jp
 TEL: 029-886-8099 FAX: 029-860-6399